

APM工法 湿式通気構法



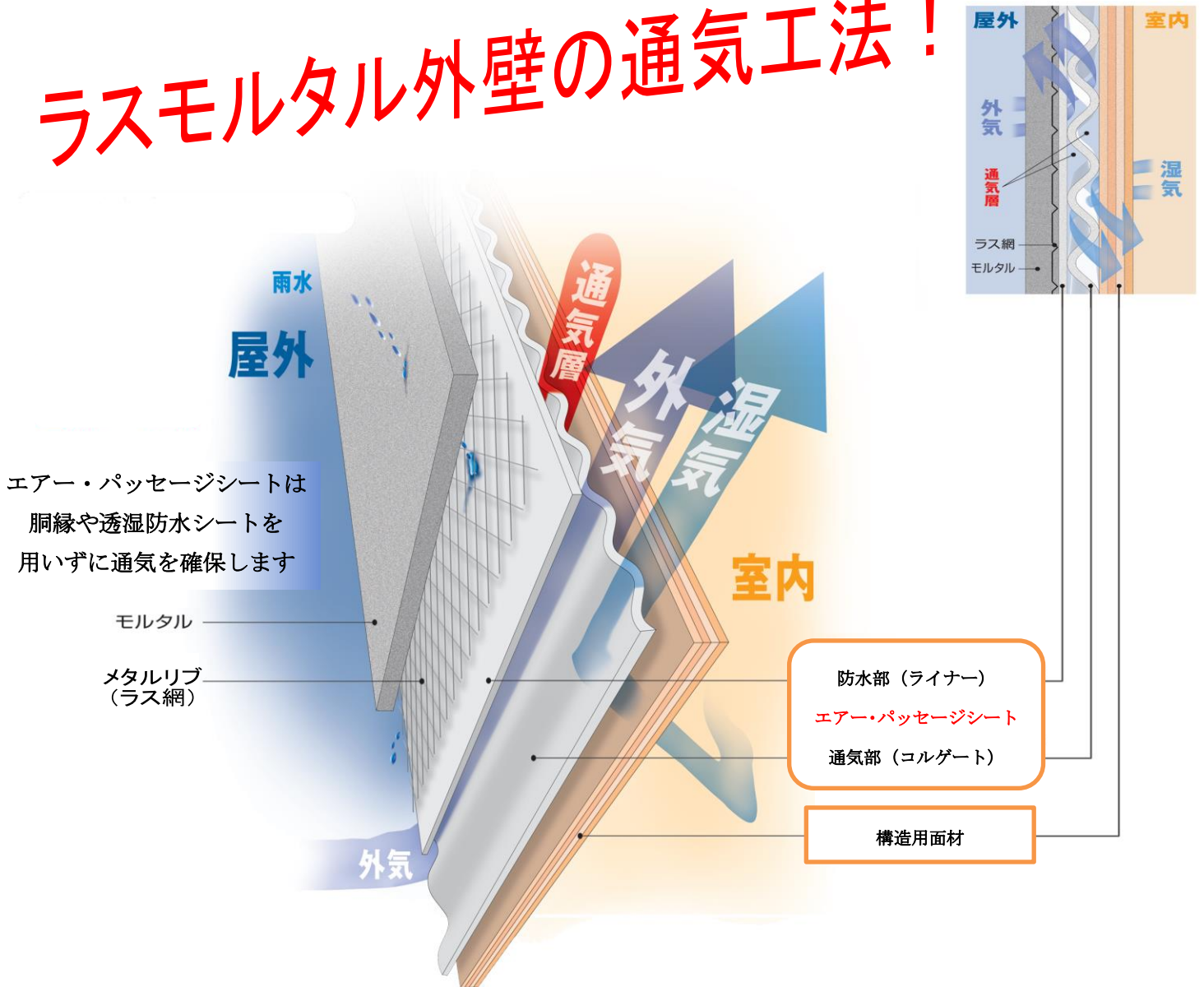
優秀賞

一般社団法人大阪府建築士事務所協会賞

防水と通気のマカニズム

(合板を使用した例)

ラスモルタル外壁の通気工法！



坂本雄三 東京大学名誉教授 推奨工法



株式会社 山中製作所

APM工法とは



APM工法 (Air Passage Sheet for Mortar)

防水機能と通気(放湿)機能を併せ持つシート「エア・パッセージシート」を使用した、胴縁通気工法に変わる新しい工法です。

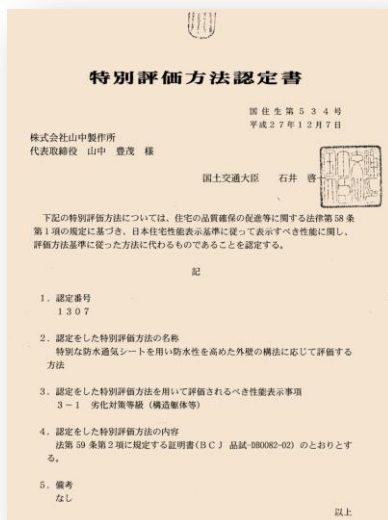


エア・パッセージシート(AP250)

APM工法の特徴

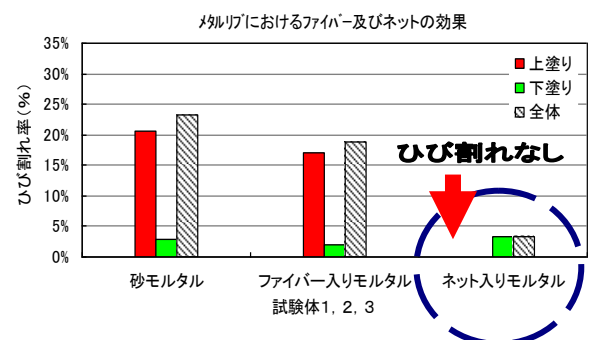
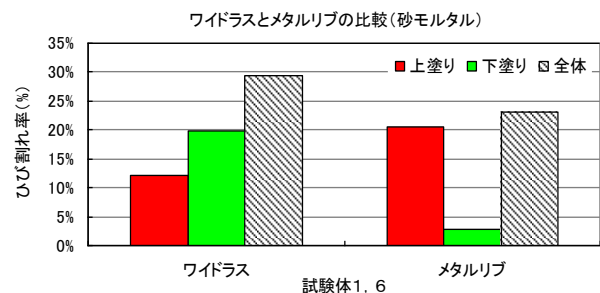
- 1、住宅性能表示制度における劣化対策等級で通気層として認定された工法です。国土交通省特別評価法認定取得済(劣化対策等:最高等級3:75年~90年相当に対応)
- 2、防水シートと波状に形成されたコルゲート(不織布)の2重構造で構成されたシートにより、外部からの水や漏水を防ぎ、躯体内部からの湿気をシート全体で受けて排湿します。
- 3、通気層工法で、従来から施工されている透湿防水シートと胴縁施工が不要になるため、施工性が大幅に改善されます。
- 4、APM工法用に開発されたメタルリブは、施工性が改善されると共にモルタルの強度と耐クラック性を向上させます。

住宅性能評価制度

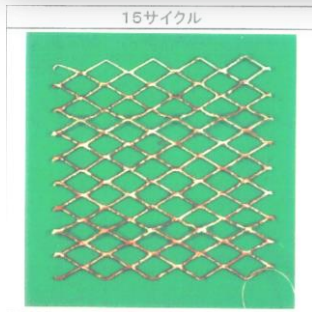


劣化対策等級3 取得済

ラスモルタルのひび割れ比較試験



メタルリブI型



溶融亜鉛メッキ鋼板製ラス

複合サイクル腐食試験による赤錆発生試験
(CCT: JASO M609-91)



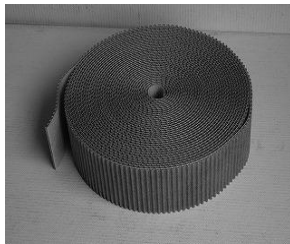
1サイクル8時間: 塩水噴霧 (35°C 5% NaCl) 2時間 + 乾燥 (60°C 相対湿度30%) 4時間 + 湿潤 (50°C 相対湿度95%) 2時間



高耐食溶融メッキ鋼板
メタルリブ I 型

APM工法の主な部材

防水放湿シート関係



スターター

幅100mm × 長さ20M



エアパッセージシート (AP250)

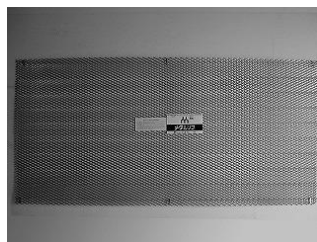
幅1075mm × 長さ20M



カットクロス
専用防水テープ

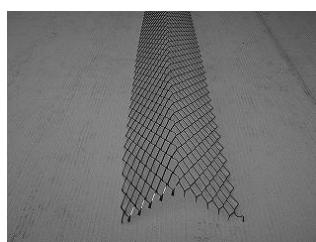
幅75mm × 長さ20M

ラス工事関係部材



メタルリブ I 型

タイプA 幅945 × 長さ1829mm
タイプB 幅945 × 長さ1870mm



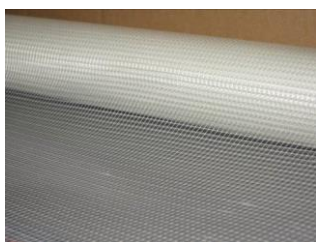
コーナー用ラス

L90 × 90 × 長さ1829mm



ステンレス鋼製
ステープル (L1019JS)

モルタル工事関係

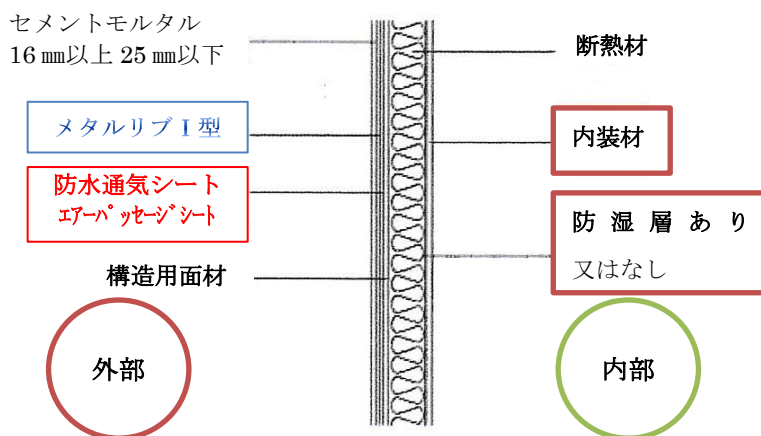


専用ガラス繊維ネット

幅1000mm × 長さ50M

APM工法の認定条件

劣化対策等級 3	
工法	軸組み工法
	枠組み壁工法
	木造プレハブ工法
地域	<u>地域指定なし</u>
用途	戸建住宅・共同住宅の外壁
階数	3階建て以下
面積	構造および防耐火認定内の面積規準以内
構造用面材	第5 評価の方法の基準（性能表示事項別）3 劣化の軽減に関すること 3-1 劣化対策等級（構造躯体等）(3) 評価基準（新築住宅）イ木造① 等級3a 外壁の軸組等 (i) 通気層を設けた構造 (ii) 軸組等（下地材を除く。）に製材又は集成材等集成材の日本農林規格（平成19年農林水産省告示第1152号）に規定する化粧張り構造用集成柱若しくは構造用集成材、単板積層材の日本農林規格（平成20年農林水産省告示第701号）に規定する構造用単板積層材又は枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格（平成3年農林水産省告示第701号）に規定する枠組壁工法構造用たて継ぎ材をいう。以下同じ。）が用いられ、かつ、外壁下地材に製材、集成材等又は構造用合板等（合板の日本農林規格（平成15年農林水産省告示第233号）に規定する構造用合板、構造用パネルの日本農林規格（昭和62年農林水産省告示第360号）に規定する構造用パネル、日本工業規格A5908に規定するパーティクルボードのうちPタイプ又は日本工業規格A5905に規定する繊維板のうちミディアムデンシティファイバーボード（以下、「MDF」という。）のPタイプ
	火山性ガラス繊維複層板（ダイライト等）
	けい酸カルシウム板（モイス等）



2022.6



株式会社 山中製作所

大阪府堺市堺区遠里小野町2丁1番8号
TEL 072-232-0704 Fax 072-232-3663
日本産業規格表示認証工場・大阪府知事許可一般建設業者

◆お問合せ



URL <http://www.yamalath.co.jp>